

# 『子宮頸がん予防推進活動 ～リボンムーブメント交流会～』

## 1. 目 的

東京 RM(リボンムーブメント)と、子宮頸がんサバイバーの先進的な啓発活動報告を通じて、今後島根県でおこなう女子大学生による啓発活動の具体的内容を検討する。

## 2. 日 時

2014年3月11日(火) 13:00~20:00

## 3. 場 所

島根県立大学出雲キャンパス 217 講義室  
レストランビームーン

## 4. 参 加 者

いなたひめプロジェクト：学生12名、教員2名、実行委員5名  
RM：学生3名、実行委員1名

## 5. 内 容

### 第1部

- ①自己紹介                      ②キャンパスツアー                      ③活動紹介                      ④ディスカッション  
⑤ミニレクチャー

「いまさら聞けない“細胞診”と“細胞診 HPV 併用検診”について」  
島根県細胞検査士会                      小海 志津子先生

### 第2部

- ①講義 「ワクチンの副反応について」  
国立大学法人島根大学保健管理センター                      河野 美江先生  
②会食・親睦交流



第1部：RM発表の様子



第1部：ディスカッションの様子



第1部：ミニ講義 小海先生




第2部：ミニ講義 河野先生

## 6. 感想・考察

- ・RM では、新入生は勉強をして冊子作りへと段階を踏んで知識が身に付きやすいような活動の仕組みになっている。
- ・様々な学部の人が集まっているからこそ、メンバーそれぞれが参加できるときに責任をもって活動に取り組み、互いに補い合いながら活動を続けている。
- ・互いに活動紹介をし、それをもとにディスカッションを行うことでそれぞれの活動を見直す機会となった。また、多くの刺激を受けることができ、活動への意欲が増した。
- ・今後の活動の方針や新たな方向性を検討することができた。

【学内チラシ】



RM Ribbon Movement. &  いなたひめプロジェクト

# 子宮頸がん予防推進活動 女子大生リボンムーブメント がやってくる！

2014年3月11日 火曜日 13:30～17:00

- ・場所： 島根県立大学 217講義室
- ・参加費：無料
- ・参加希望の方は、島根県立大学出雲キャンパス  
伊藤奈美 までお申し込みください（3/10締め切り）  
Tel:0853-20-0369 メール:n-ito@izm.u-shimane.ac.jp

同日 18:00より 西新町 レストラン・ビアムーンにて  
懇親会を行います。参加費800円です。  
ご参加お待ちしております。

# 【2014 年度】

## 『山陰 H&B フェスタでの啓発活動～2014～』

### 1. 目的

通年開催される「美と健康」に関心のある来場者（約 22,000 人）に対して子宮頸がんの正しい知識の普及状況を調査するとともに啓発活動を行う。

### 2. 日時

2014年6月7日(土) 10:00～17:00、 6月8日(日) 10:00～16:00

### 3. 場所

松江くにびきメッセ

### 4. 参加人数

7日(土): 学生12名、実行委員6名  
8日(日): 学生11名、実行委員5名

### 5. 来場者数

2日間延べ22,000人

### 6. 内容

1. ボードアンケートの実施
2. リーフレット・ボールペンの配布
3. ブースでの啓発
4. 検診車(子宮頸がん)の見学

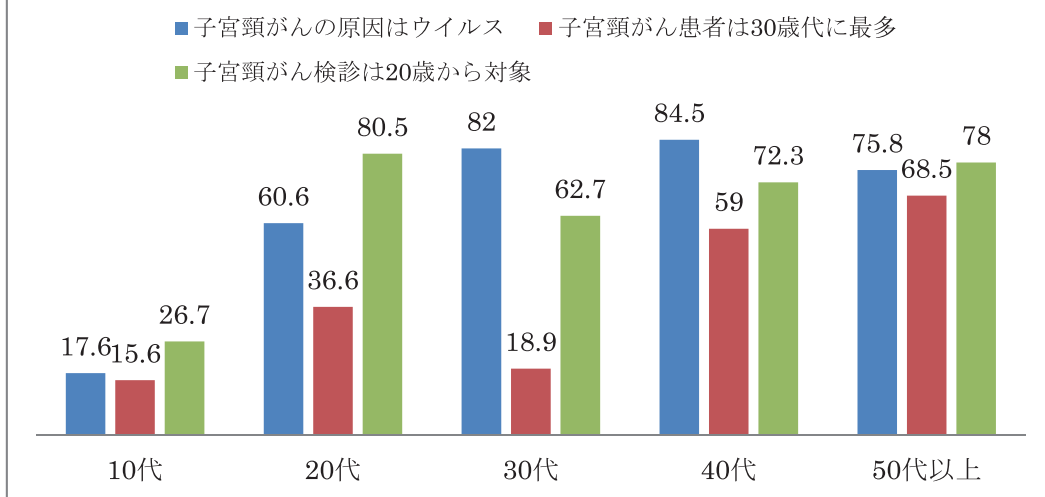
#### 1. ボードアンケート

質問内容①子宮頸がんの原因はウイルスである②子宮頸がん患者は30歳代に最多③子宮頸がん検診は20歳から対象、の3つを質問とし、○/×で回答してもらった。アンケートに答えてくださった方にはリーフレット・ボールペンを手渡した。

### 【イベントチラシ】



子宮頸がんに関する質問に対する年代別正答率 (%)  
(n=597)



集計結果からみると、正しい知識を身につけている人が圧倒的に多いように思われる。しかし、10代においては認知度が低く、男女ともに年配になるにつれて認知している人の数が増えていると思われる。子宮頸がんが30代に最も多いといわれているのにも関わらず、30代以下の女性の認知度が低くなっていることは問題であると考えます。子宮頸がん検診が20歳からが対象であるという質問においては、20代以上の人は自分が実際に検診を受けているために認知度が高くなっているが、10代の人はまだ子宮頸がん検診を受けていないために認知度が低かった。



(アンケートボードの様子)



(アンケートボードの様子)



(イベントを終えて)



(検診車見学の様子)

## 7.まとめ

今回は全員が初めての啓発活動だったため全てが手探りだった。1日目は午前の高齢者の来場者が比較的多かったせい、若い人への啓発があまり出来ず残念だった。午後からはメンバーが啓発になれてきたこともあり、景品がなくともアンケート数が伸ばせたことがとても良かったと思う。2日目は景品との関係でペース配分しながらであったが、順調に数を伸ばせたと思う。前年と比較して、回答者が高齢者に多く若者に少なくなってしまったので、声のかけ方を見直したい。また、事前で回答者の到達目標(20代→100人、30代→150人…)を決めておくことで、こちらのモチベーション維持と若者への啓発拡大になるのではないかと考えた。全体を通して、大学生も関係者の方々も和やかな雰囲気楽しく参加出来たことが何より嬉しかった。回答者の方々の多くが熱心に耳を傾けて下さり、わずかながら啓発の手応えを感じたことが自信につながった。これからもより多くの人に啓発活動が出来るよう努力していきたい。

# 『雲南市 20 歳の成人式での啓発活動』

## 1. 目 的

子宮頸がんの正しい知識と検診の大切さを新成人に伝える(知らせる)

## 2. 日 時

2014年8月14日(木)

## 3. 場 所

雲南市三刀屋文化体育館アスパル

## 4. 参加人数

学生6名、実行委員1名

## 5. 対象者数

新成人370名

## 6. 内 容

### 1. いなたひめプロジェクトの紹介

### 2. 子宮頸がんの説明

クイズ①子宮頸がんの好発年齢について

クイズ②早期発見・早期治療の大切さについて

クイズ③検診について「20歳を過ぎたら検診！」

### 3. 配布資料の案内

#### 【良かった点】

- ・クイズ形式にしたことにより、新成人の関心を得られた。
- ・同年代の私たちが啓発を行うことで、より興味・関心をもってもらえた。
- ・発表者が雲南市出身の学生だったため、親しみをもってもらえた。
- ・1年生が3年生と一緒に活動しながら啓発活動の本番までの準備過程を知ることができ、た。今後に活かすことができると思われる。

#### 【悪かった点】

- ・写真撮影後にアンケートを口答で行ったが、声をかけづらかった。また、数名からの回答しか得られなかった。
- ・準備期間が大学のテスト期間と重なっていたため、大変だった。

#### 【改善点】

- ・啓発の評価方法について  
結果を示すデータとしての取組が必要だった。  
紙ベースのアンケートができるように工夫する(封筒に同封するなど)。



私たち、  
雲南市出身なんです！

成人  
おめでとうございます

あなたとあなたの大切な人のために  
20歳を過ぎたら「検診」へ行こう!!!

## 7. 感想

- ・コンサート前の休憩時間を利用しての啓発では、どれだけの人に聞いてもらえるか心配していたが、予想以上に沢山の人が聞いて、参加してくれ、とても嬉しかった。
- ・新成人という若い世代に焦点を絞ることで、また、イベントの中でも「成人式」という大きなポイント(タイミング)を狙った場での啓発は、成果を挙げやすいと思われる。
- ・主催：市役所(教育委員会)の方との企画の打合せをするという経験ができ、勉強になった(責任感を持って臨むことや社会性を身につける機会となった)。
- ・何百人という大勢の前での発表ができ、良い経験・自信となった。
- ・学生同士で役割分担をして準備をすることができた。

# 『出雲キャンパスでの子宮頸がん検診実施』

## 1. 目的

20～30代に多い子宮頸がんの早期発見につながる検診の大切さを若い世代に知らせる。

## 2. 日時

学習会事前説明会：2015年2月19日(木) 10:30～11:30

検診実施日：2015年3月11日(水) 11:00～12:30、 13:30～15:00

## 3. 場所

事前学習会：公立大学法人 島根県立大学 出雲キャンパス

検診：公立大学法人 島根県立大学 出雲キャンパス

## 4. 参加人数

学習会事前説明会：学生 16名、実行委員 4名

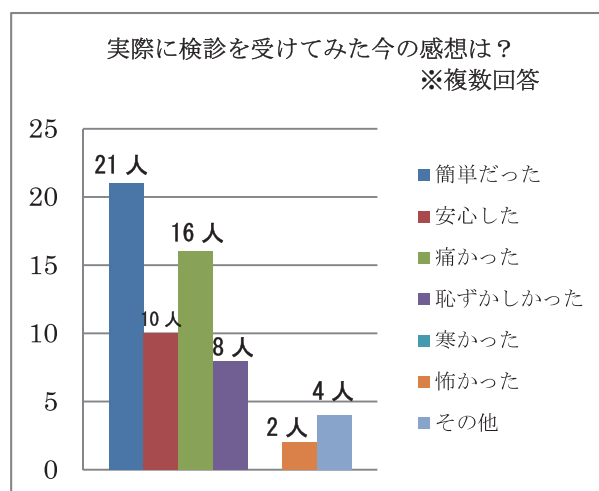
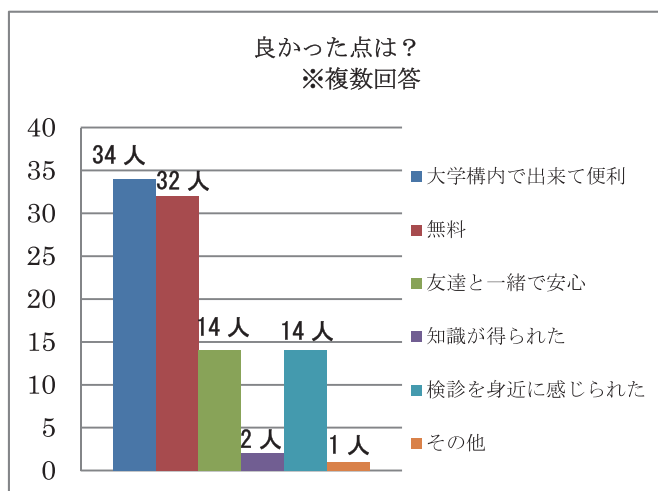
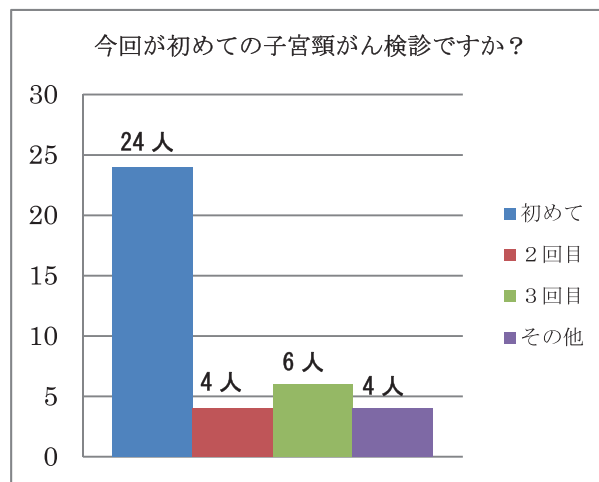
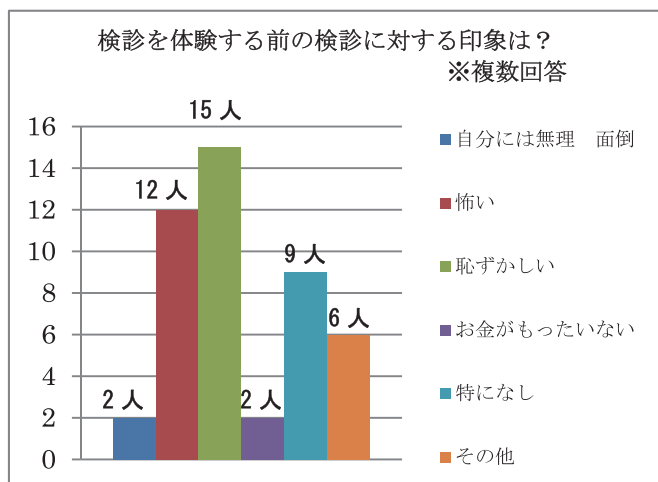
検診実施日：学生 9名、実行委員 6名

## 6. 内容

- 1) 学習会、事前説明会開催
- 2) 検診車で大学構内の学生、教員の方へ検診実施
- 3) アンケート調査

※年齢割合 総計 38人(20歳～66歳まで)

20歳 13名、21歳 4名、22歳 6名、その他 15名





研修会



熱心に学習しました



取材を受けました



2015年(平成27年)3月12日 山陰中央新報

女性の先生・看護師さん  
で親切でした  
運転手さんも暖房あり  
がありがとうございました  
検診は短時間です



こんなに注目されて  
照れるなあ



検診を受けてみて、自信を持って伝えていきたいと思いました



## 7. まとめ

- ・「子宮頸がん検診は気になっていたが、いつどこで受ければいいのか分からなかったから、今回学校で受けられると知って、受けられて良かった。」という学生の声があった。
- ・今回の結果をみて、継続して検診を受けたい。
- ・今まで、「痛みはほとんどない」と伝えていたが、子宮鏡を入れる時に少し違和感があり、全く痛くないとは言い切れなかった。
- ・カーテンで顔は見れなくてもやっぱり羞恥心はあったが、体験してみないと分からないことだったと感じた。本当に羞恥心に配慮が必要になってくる検査であると感じた。
- ・子宮頸がん検診を実際に受けてみて、自分たちが訴えていたことに自信をもって一意見として伝えることが出来るようになったかと思う。
- ・検査自体はすぐに終わって負担のないものなので、やっぱり多くの人に受けてもらって子宮頸がんを防いでもらいたい。
- ・個人差があることや、自分の体験を含めて検診のことを伝える必要があると思った。

## 8. 考察

アンケート調査の結果、受診した女性の多くが「大学構内で受けられて良かった」「友達と一緒に良かった」との感想を寄せていた。大学での検診は、20歳からの検診デビューをスピード感を持って、積極的に増やすための有効な方法の一つとして考えられた。



## 資料編

1. 『子宮頸がん検診普及キャンペーン  
ロックバンドとのコラボレーション』  
2012年3月20日 松江テルサ1Fにて
2. 『山陰 H&B フェスタでの啓発活動～2012～』  
2012年6月2日、3日 松江くにびきメッセにて
3. 『アジア・オセアニア性科学学会参加』  
2012年8月3日 松江くにびきメッセにて

1. 『子宮頸がん検診普及キャンペーンロックバンドとのコラボレーション』

日時：2012年3月20日(火) 13:00~15:00



**いなたひめ**


～子宮頸がんクイズ～



**Q1.子宮頸がんってどこに出来るの？**




A.子宮の内部  
B.子宮の入り口



答え


**正解は……B 子宮の入り口**

子宮頸がんは、子宮の入り口である頸部にできるがんです。




**Q2.子宮頸がんの原因となるウイルスは何？**

A. ヘルコバクターピロリ  
B. ヒトパピローマウイルス



ヘルコバクターピロリ




ヒトパピローマウイルス

答え

**正解は……B**

**ヒトパピローマウイルス**

子宮頸がんを引き起こすのはヒトパピローマウイルス(HPV)というどこにでもあ  
るウイルスです。


**Q3.子宮頸がんは何歳代に多いの？**

A. 20～30代  
B. 40～50代



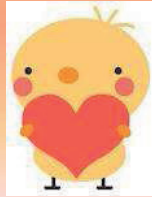

1. 『子宮頸がん検診普及キャンペーンロックバンドとのコラボレーション』

日時：2012年3月20日(火) 13:00~15:00

答え

正解は……**A** **20~30代**

近年20歳代が増加していますが、  
30歳代が発症のピークです。



**Q4.子宮頸がんのワクチンを打てば  
検診は必要ない？**

**A. 必要ない**

**B. 必要である**



答え



正解は……**B** **必要である**

ワクチンでは70%のウイルスしか防げ  
ないので、子宮頸がんになるリスクはあ  
ります。

→毎年検診が必要!

**Q5.子宮頸がんのワクチンは  
いつごろから打てるの？**

**A. 10歳から**

**B. 20歳から**



答え



正解は……**A** **10歳から**

ワクチンは10歳から接種ができます。



**Q6.  
子宮頸がんになっても早く見つけて治療  
をすれば子どもを産むことができる？**

**A.産むことはできる**

**B.産むことはできない**

